

「津波から命を守るために！」

忘れない！ 3月11日は東日本大震災の起きた日

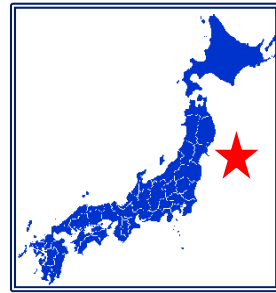
DVD津波からにげる



津波の知識と避難のポイントを小学生でもわかりやすい内容で作成されています。



平成23年(2011年)3月11日、東北地方の太平洋沖での巨大な地震により、大津波が発生し、東北地方を中心に日本の太平洋沿岸で大きな被害となりました。この災害を東日本大震災と呼びます。右の写真は津波の被害の様子です。津波から命を守るためには、すぐに避難することが大切です。津波は低い場所をおさえ、海や川からはなれ、高いところを目指して逃げましょう。



地震の起きた場所



岸壁に乗り上げた船 気仙沼市

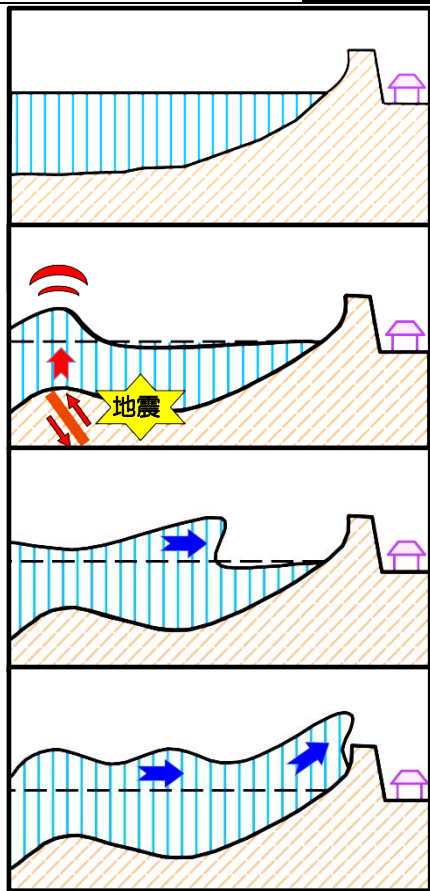
地震で海の底が動くと津波が起こります

津波が起こるしくみ

海の下で大きな地震が起ると、海の底が持ち上がり、下がり、下がったりします。そのとき、その上にある海水が急激に持ち上がった。下がったりし、大きな波となって周りに広がっていきます。これが津波です。



津波の力はとても強く、家や車をあっという間に押し流してしまいます



- ① いつもは静かな海でも・・・
- ② 大きな地震がおこると海の底が持ち上がり海水が押し上げられます
- ③ 海の表面から底までの水がかたまりとなってやってきます
- ④ 海岸に津波がおしよせます

注意

- 海の近くで地震の揺れを感じたら、**すぐに避難する。**
- 津波注意報が発表されたら、**すぐに海のそばから離れる。**
- 大津波警報・津波警報が発表されたら、**すぐに安全な場所(高いところ)に避難する。**

津波から命を守るためには、海の近くでゆれたら、**すぐに避難!**

TSUNAMI(津波)は世界共通語！?

昔、津波は英語で「tidal wave」と呼ばれていました。しかし、これは潮の満ち引きを表す言葉で、地震によって発生する津波とは意味が違いました。

1946年アリューシャン列島付近で発生した地震の津波により、ハワイ諸島でたくさんの犠牲者が出ました。たくさんの犠牲者が出た地域には日本から移住した人が多く住んでいて、この人たちが「TSUNAMI(津波)」という言葉を使っていたことから、1968年に正式な学術英語として世界の共通語となった、と言われています。



2014年	3月5日	水曜日
平成26年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

「お天気 Q&A」

Q: 津波の速さは?

A: 津波の進む速さは、海の深いところでは早く、浅いところでは遅くなります。海の深いところでは時速800km、これはジェット機並みのスピードです。海岸に近づくにつれて津波の速さは遅くなりますが、それでも時速約36kmです。これは100mを10秒で走るオリンピック選手並みの速さです。

津波が来てからでは走っても逃げきれません。津波が来る前に避難をはじめましょう。

気象情報へのアクセス

過去の天気を調べる		
気象データ	検索	
雨が降っている場所は		
ナウキャスト	検索	